

おぐに

● 広報



— おっきいの採れたよ —

おぐに保育園の年中児と年長児合わせて24人が、10月9日、町原の永井博嘉さんの畑でサツマイモ掘りを体験しました。園児たちは、サツマイモが植えられた畑の土を手でかき分けながら掘り進め、隣の友達と大きさを競いながら自分の顔よりも大きなサツマイモを手にし、永井さんにその大きさを自慢していました。

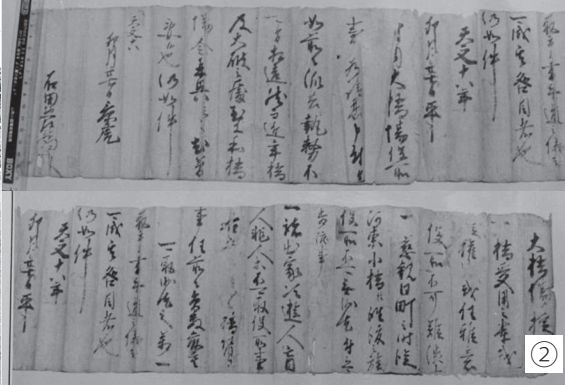
2019

11

No.781



①



②



③

文化遺産を未来へ ～文化財の保護・管理と 次代への継承のために～

長い歴史の中で、その土地に代々守り伝えられてきた文化財。しかし、近年の時代変化とともにその存在さえも忘れられ始めています。私たちは、町民の宝でもある文化財をどのようにすれば後世へ遺していけるのでしょうか。文化財保護強調週間（11月1～7日）もある今月は、本町の町指定文化財を紹介するとともに、保存・継承に向け各地域で行われている取り組みを紹介します。



④



⑤



⑥



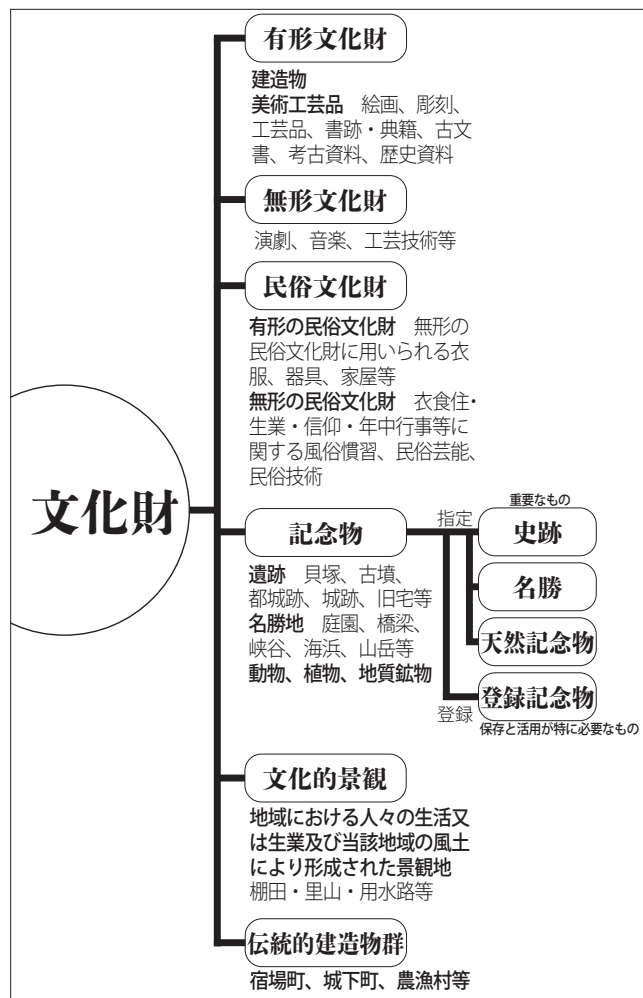
⑦

- ①舟渡の獅子踊り
- ②景虎の府内大橋場掟書
- ③黒沢峠の敷石道
- ④宝泉寺の千手観音菩薩像
- ⑤町原の六面地藏
- ⑥大宮神社の獅子頭
- ⑦古田歌舞伎

文化財と文化財保護行政

文化財とは、はるか昔の先祖たちが、その土地で暮らしていくなかで創り出し、代々、守り伝えられてきた文化遺産です。それは地域の歴史を今に伝える大切な公共の「財産」であり、私たちには先人たちから受け継いだそれら「財産」をきちんと遺し、次代へ伝える責任があります。

そのような観点から、あまたとある文化財の中でもとりわけ国民にとって歴史的、学術的、美術的に重要なものを保護し、活用を図るための制度を定めているのが文化財保護法です。文化財保護法では、文化財を3ページの図のように有形文化財、無形文化財、民俗文化財、記念物、文化的景観、伝統的建造物群に区分しています。文化財保護法では、それぞれの指定・選定・登録制度やそれらを対象とした管理・修理・記録等にかか



▲文化財の体系図

る取り扱いについて細かく規定
しています。ちなみに、私たち
が普段よく耳にする国宝とい
うのは、国指定重要有形文化財
のうち、「世界文化の見地から
価値の高いものでたぐいがない国
民の宝たるものであるとして国
（文部科学大臣）が指定したも
の」です。県内では、羽黒山の
五重塔（鶴岡市）や上杉家文書
（米沢市）、西ノ前遺跡（舟形町）
出土の土偶「縄文の女神」など
6件が指定されています。

各地の文化財を対象としている
ため、全てを網羅しきれもの
ではありません。

そこで、文化財保護法の中
では、都道府県や市町村が条例を
定めることで、国指定の文化財
以外のもので、その地域の中に
ある重要なものを文化財に指定
し、保存や活用のために必要な
措置をとることができるとして
います。これに基づいて、山形
県文化財保護条例や小国町文化
財保護条例がそれぞれ制定され
ているのです。

小国町における文化財保護

現在、町内に存在（生息）す
る国指定の文化財はニホンカモ
シカ（特別天然記念物）のみで
す。また、県指定の文化財は、
ソロバン玉石（天然記念物）と
チョウセンアカシジミ（天然記
念物）の2件です。一方、町指
定の文化財は、今年度春に新規
指定された「東山紺野遺跡出土
の黒曜（こくよう）石製石器」
を含め38件あります。その詳細
は4ページの図のようになって
います。町指定の文化財（以下
「指定文化財」という。）は条例
上、有形文化財と無形文化財、
民俗文化財、記念物に区分され、
文化的景観や伝統的建築物群は
現在のところ対象とされていま
せん。

小国町文化財保護条例では、
指定文化財の所有者に対して、
教育委員会が管理方法等につ
いて指示することができること
に、所有者はそれに従って管理



▲昨年6月森の楽校でチョウセンアカシジミを観察する子どもたち

しなければいけないなど、指定
文化財の取り扱いに関するさ
まざまなことが明記されていま
す。

教育委員会では、「小国町文
化財調査委員会条例」に基づき
文化財調査委員会を設け、この
ような指定文化財の管理や現況
に関する調査・審議を委嘱して
います。文化財調査委員会は、
各地域の文化財や歴史に詳しい
有識者（現在8人）からなっ
ており、定期的な委員会の開催
と、指定文化財の現況確認調査、

あるいは他市町村での文化財保存・活用の取り組みの視察などを行っています。また、文化財の新規指定の際には、教育委員会から諮問を受け、調査・審議を実施します。

文化財の保存・

継承に向けて

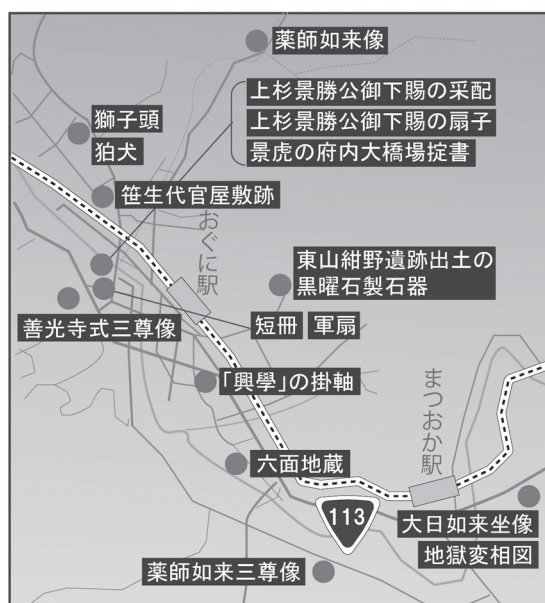
指定文化財は地域の宝であり、公共の財産という性質も有しているため、管理に関するさまざまな義務をその所有者や管理団体に求めているのです。そして、それは管理だけでなく、所有者や管理団体が指定文化財を勝手に修理したり、現状変更したりすることも禁じています。これらを行う場合は、予め教育委員会に届出を行う必要があります。

また、原則として、指定文化財の管理や修理にかかる費用は所有者もしくは管理団体が負担しなければなりません。しかし、文化財は古いものが多く管理や修理には、高い技術を伴うため

多額の費用が発生する場合もあります。そのため、条例では修理等にかかる費用の一部を町が予算の範囲内で補助することができますとも規定しています。

ただし、こうした修理の大前提として、まずは文化財の存在や価値を所有者はじめ地域のかたがたが認識し、それを守り伝えようという意思があることが重要です。

昨年12月、越中里地区では地区内の菅原神社に祭られている指定文化財「男神像」の虫食いが進行していることから、これを抑え保護するため、東北芸術工科大学文化財保存修復センターに依頼して炭酸ガスによる燻蒸（くんじょう）処理を行いました。この保存活動を中心となつて進めたひとりである原田憲一郎さんは、「元々は、文化財調査委員会からご神体が痛み始めていることが指摘されていた。そして、平成28年に神社の内装工事に伴い、ご神体を移動させたとき、本当に傷んでい



MAP1 (拡大図)

▲町指定文化財の一覧とおおよその所在地

町ホームページでは全ての指定文化財を紹介しています。

<http://www.town.oguni.yamagata.jp/data/history/culture/culture.html>





▲菅原神社の男神像

『小国の文化財』によれば、像高45.5cm、像幅20.5cm。この像が作られたのは南北朝時代（1336～1392年）で、このような神像は県下でも珍しいものと言われ、昭和58年3月31日、彫刻第8号として町の文化財に指定されました。

ることを実感しました。その後、文化財調査委員会から修復等について話をいただき、公民館長に相談をしたところ、地域として大事なものだから守っていこうという話になり、燻蒸処理をすることになりました。我々が子どもの頃は、夏でも冬でもみんなが集まって遊んでいた場所が菅原神社。今はなかなか行く機会は少なくなりましたが、毎年8月にはお祭りもしています。また、草刈りは公民館の事業としてやっています。今回、燻蒸処理の報告書を作り、全世帯に配布したことで、地域の中にそういう大切なものがあることを認識してもらえたと思います。



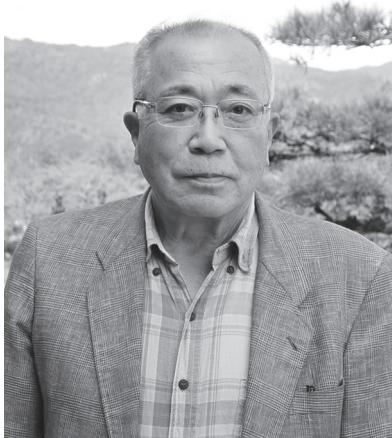
▲原田憲一郎さん

また、地域内に文化財があるということを誇りに思い、外に誇れるようになったらいいなと思います。正直ご神体を持ち出して罰が当たるのではないかと考えていましたが、無事に終わって本当にやってよかったなと思っています。」と話してくださいました。

このように地域の中にある文

化財そのものの存在を、そこに住むかたがたが再認識し、その価値を共有していくことが文化財の保護や継承を図るうえで大変重要になります。

小国町文化財調査委員会の益田敏夫会長は、「文化財は町民の宝物であり、大切に後世に残していかなければならないものです。一方でまだまだ文化財というものの存在を知られていないのではないかとも思っています。指定文化財の所有権は、町ではなく個人や地域に帰属するため、それを保護・管理していくというのはとても大変なことですし、モノだけでなく舟渡の獅子踊りや古田歌舞伎などもあ



▲益田敏夫さん

り、これを継承していくためには後継者づくりもとても重要になります。文化財調査委員会としては、所有者のかたがたに指定文化財の保存等のお願いをすることしかできません。今年は教育委員会で小学生たちを対象にした史跡めぐりを行います

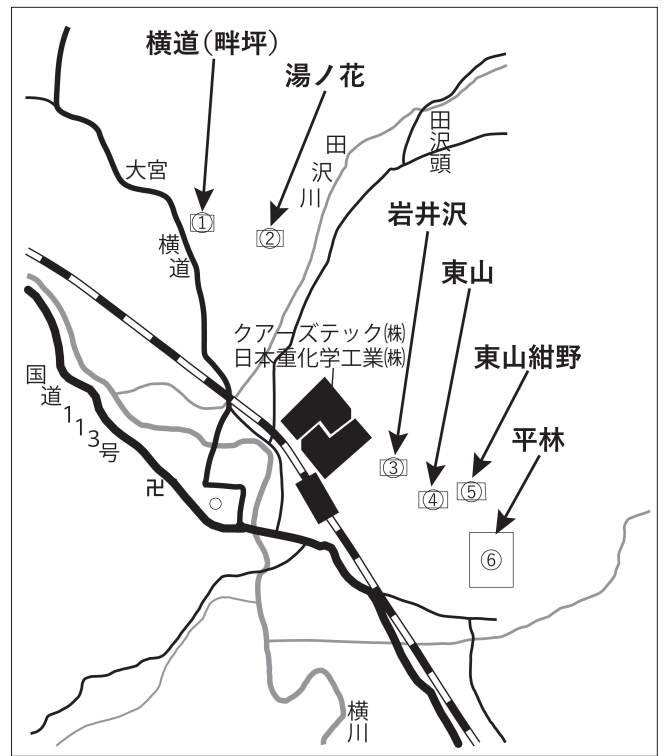
が、次世代の子どもたちにもその価値を知ってもらう大変いい取り組みであると考えています。文化財調査委員会としても、今後は多くの人が、文化財に触れる機会と場所を作っていけるようにしたいですね。」と話してくださいました。

町内の先史遺跡と

埋蔵文化財

これまで見てきた文化財は、すでにその存在が知られ、価値が認められているものです。しかし、文化財の中には、その存在すら知られていないようなものも存在します。それが「埋蔵文化財」と呼ばれるものです。

埋蔵文化財とは、読んで字の



▲町内の旧石器時代の遺跡図(『小国の文化財』より抜粋)



▲東山紺野遺跡出土の黒曜石製石器

有形文化財の考古資料では第1号。理化学分析により青森県深浦産であることがわかっている。東山紺野遺跡は1万5～6千年前の遺跡であり、その時代にこの石器の原石が、どのようなルートでなぜ小国町に持ち込まれたのか。

ごとく「土地に埋蔵されている文化財」のことで、古墳や貝塚など原形をとどめているもののほか、昔の住居跡(遺跡)や、昔の人が作った石器や土器、金属片など(遺物)です。前者で価値が認められれば「記念物(史跡)」として、後者は「有形文化財」として保護の対象となることもあります。

いずれにしても、これらはどこに埋まっているか必ずしも定かではないため、開発行為などによって知らないうちに破壊される恐れがあります。万が一、何百年か後にその価値が明らかになったとしても、一旦破壊されてしまえば手遅れとなってしまいます。そのため、文化財保護法では、埋蔵文化財の保護に関しても細かな規定を設けています。

すでにその存在が知られている遺跡に関しては、県や町の教育委員会が「周知の埋蔵文化財包蔵地」として場所やおおまかな範囲を把握しています。また、山形県の場合、「山形県遺跡地

し、教育委員会と協議する必要があります。本町には、岩井沢遺跡をはじめ、後期旧石器時代から縄文時代にかけて、年代の異なる旧石器時代の遺跡が存在しており、それらの文化変遷を追うことができる県内唯一の地域とされています。そのため、開発行為については特に慎重に進める必要があるのです。

町の文化財や郷土資料について詳しい小国町社会教育指導員の益田則雄さんは、「町内からはすでに109カ所の遺跡が発見されており、中には岩井沢遺跡のように県内でも古い時代の遺跡があります。町内の埋蔵文化財の多くが、荒川・横川・玉川およびその支流の河岸段丘上などや町中心部に存在しており、特に後期旧石器時代の遺跡は、大宮から上岩井沢に至る町中心部東縁の段丘上から発見されています。町内に遺跡がたくさんあることから、開発行為の際には県が公表している埋蔵文



▲森の楽校・史跡めぐりで見学した三平岩屋（左上）と烏天狗像（右上）と大里峠の凶霊供養塔（下）



化財の地図を参考にしながら、何かあれば町教育委員会や文化財調査委員会に連絡、相談をしてほしいと思います。埋蔵文化財の中には、小国に産地のない『黒曜石』でできたものも出土しており、それがどこから持ち込まれたのかなど、遺物の背景

を読み解いていくと、小国には、昔も今も魅力がたくさんあるということがわかります。遺跡から出土したものや文化財は地域の魅力を再発見させてくれるものだと思います。」と話してくださいました。

町民の宝物を 次の世代につなぐ

これまで見てきたように、文化財を守っていくためには、その存在を知ってもらう取り組みや、それを保護する活動などを行う必要があります、これには町民

の皆さんの理解が必要不可欠になります。

町教育委員会では、こうした町内にある文化財をより身近に感じてもらうため、今年は小学生を対象にした「森の楽校・史跡めぐり」を10月21日に実施しました。この日は、玉川地区にある「三平岩屋」と「大里峠の凶霊供養塔」、そして玉川十二山神社のご神体である「烏天狗像」の3つの指定文化財を見学しました。史跡めぐりに参加した小国小学校5年の寒河江雄大くんは、「あんなに小さい洞窟（三平岩屋）で、よく人が生活できたなと思いました。また、烏天狗像はもっとカラスに似ているかと思ったけど、人間みたいな形をしていて驚きました。参加してみても僕がまだ知らない小国のことをたくさん知ることができて楽しかったです。機会があればすべての文化財を見てみたいです。」と話してくれました。

町内には、約3万年前とも言

われる岩井沢遺跡をはじめ、さまざまな文化資源にあふれています。



▲寒河江雄大くん

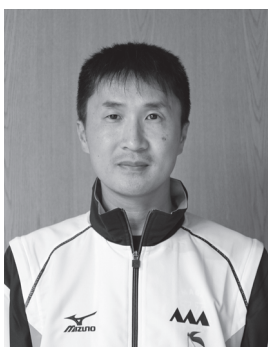
地域に残る文化財を次の世代につないでいくことが、先人たちの築いてきた歴史や伝統を守ることになり、ひいてはその地域の住民や町民のアイデンティティの醸成にもつながりうるのではないのでしょうか。また、近年では、文化財を観光資源として活用し、多くの人を魅了させている事例などもあります。

町では、町内にある貴重な財産を失うことなく次の世代に引き継いでいくための人材育成を図るとともに、小国の豊かな自然に育まれた生活文化の継承・発展に努めていきます。



クレ射撃競技スキート団体で東北大会4位入賞 令和初の国民体育大会に出場

9月28日から10月8日まで茨城県を会場に開催された、第74回国民体育大会「いきいき茨城ゆめ国体2019」のクレ射撃競技スキート団体に小国警察署の片山勲さん（小国小坂町）が山形県の代表として出場しました。クレ射撃競技は、空中に飛ばしたクレと呼ばれる標的（直径10cm程の素焼きの皿）を散弾銃で射撃し、命中数によって順位を競うもので、スキートとは標的が選手の左右から1枚または2枚同時に飛び出し、1枚のクレに対し1発のみ撃つことができるものでより正確性が問われる競技となります。



片山さんが所属する山形チームは、8月に行われた第46回東北総合体育大会で第4位に入賞し国民体育大会への出場権を獲得しました。

国民体育大会では惜しくも入賞を逃しましたが、全国の舞台で堂々と戦い抜きました。



第31回安全狩猟ライフル・スラッグ射撃大会 有害駆除等の最前線の現場で活躍するため

第31回安全狩猟ライフル・スラッグ射撃大会が、10月6日、大宮地内の小国町猟友会射撃場で開催され県内10支部の猟友会から約100人が参加しました。

大会では、ライフルの部とスラッグの部の団体および個人が行われ、日ごろの訓練や現場での経験で磨いた腕を発揮し、50m先に置かれた標的を目掛け、1射1射正確な射撃を行い、接戦を繰り上げていました。



Happy Oguni Halloween!

トリック・オア・トリート！！

中心商店街ハロウィンイベントが、10月19日、アスモ周辺で行われ、家族連れなど多くのかたが来場しました。この日は、アスモ内でキャンドルづくりや英会話とVR体験、ランタンづくりなどが行われたほか、小国高校生がおばけやしきを準備して、多くの子どもたちを楽しませました。さらに、約40人が町内9店舗に隠されたキーワードを探して街歩きをしました。参加者は、各店でお菓子をもらいながら、商店街めぐりを楽しみました。

第10回山形・新潟学童軟式野球大会「白い森PLAYERS CUP」 野球少年が熱戦を繰り広げる

第10回山形・新潟学童軟式野球大会「白い森PLAYERS CUP」が、10月14日、町総合スポーツ公園など町内3会場で開催され、山形・新潟両県から7チーム・約200人の選手が出場しました。大会では、各会場に分かれてトーナメントやリーグ戦が行われ、選手たちは保護者などからの声援を受けながら、寒さをも吹き飛ばす熱戦を繰り広げました。各会場の優勝チームは、アンビシャスB.C（関川村）、きのとB.C（胎内市）、小国ビーグルズとなりました。





米坂線を元気にしよう！芋煮会in小国 JR米坂線の利用促進のために

米坂線の利用拡大を図ろうと、新潟県や首都圏などから約80人のかたがたが、米坂線で本町を訪れました。これは、ほのぼの会が毎年開催しているもので今年で15回目。

今年は新潟駅から臨時列車も運行され、参加者は風光明媚な米坂線車内からの眺めを堪能しながら本町を訪れ、飯豊梅花皮荘での芋煮会を楽しみました。

「虫」

緑のふるさと協力隊 ちだ ゆみこ
千田 有実子

朝晩冷え込む日が増えてきました。そして、へんくさ虫の季節がやってきました。小国に来た当初は、へんくさ1匹で大騒ぎしていた私ですが、最近は匂いを出さずに、手で捕まえる技を身につけるまでになりました。触角を持つと彼らは匂いを出さないそうです。

もともと虫は得意ではなかったのですが、小国に来て半年が過ぎ、虫への耐性もつき、大体の虫は家の中にも動じなくなりました。が、先日10cmはあるムカデを家に取り逃がしてしまい、寝ている間に刺されないかヒヤヒヤしているところです。

この秋は、農作業以外にも、芋煮会のお手伝い・ハロウィンイベントでタピオカドリンクの販売・森ヨガや十三峠トレッキング・古田歌舞伎など、いろいろなことに挑戦させてもらいました。そして、これからは待ちに待った(?)雪の季節を迎えます。寒さに負けず元気に頑張りたいと思います。



▲タピオカドリンク好評でした☆

「ワラビーマンダンス」

地域おこし協力隊 ねもと しゅんすけ
根本 俊輔

寒いですね。夏が過ぎて少しずつ冬が近づいているのを実感します。冬は今年で3回目になりますが年々冬が嫌になっています。1年目に、積もった雪にシロップや練乳をかけて食べて周りの人から「バカだな」と言われて当時は気にしませんでした。今は自分でもバカだなと思います。冬は熊と一緒に冬眠したいです。

さて、小国町のマスコットキャラクター「ワラビーマン&ワラヴィーナ」の歌と踊り、健康体操がキッズダンスやみなさんのご協力で完成し、お祭りや介護施設などで披露されています。

実は、僕はワラビーマンの親友なのですが、今後もっといろんな場所で披露し広めていきたいとワラビーマンが言っていました。僕に連絡くださればワラビーマンが行きます！YouTubeで「ワラビーマン」と検索すると二の宮祭での初披露映像も見ることが出来ますのでぜひご覧ください。



▲二の宮祭でのワラビーマンダンス初披露

山の「豊かさ」を伝え継ぐ

⑦ アケビ蔓

色とりどりの小国の秋。山野のさまざまな木の実が熟す、稔りの季節でもあります。ねっとりとした甘い果肉がつまったアケビは、そのような秋を感じさせる山の幸の一つです。

アケビは落葉性蔓（つる）植物で、光を求め林床に蔓を這わせ、林縁にはえる木々の幹や枝に絡まりながら葉を広げていきます。その蔓は弾力性に富み丈夫で、カゴやはげご、ざる、小物入れなどさまざまな編み細工の素材として利用されてきました。茶褐色のアケビ蔓で密に編まれた工芸品からは、無機質な化学素材にはない、自然ならではの素朴な温かみが伝わってきます。

素材の品質は、そうした作品の良しあしを左右する重要な要素です。いつ、どこに行けば良い材料が手に入るのか。知識を

動員して良質の材料を野山で探し、採集してくるところから蔓・樹皮細工の仕事は始まります。しかし、蔓・樹皮細工と言うと、創り手たちの手業（てわざ）や創意工夫に光が当てられることが多く、材料採りの過程はとかく見過ごされがちです。

1本でも多く良いアケビ蔓を求め、秋の約1ヶ月間は天気の良い日を除きほぼ毎日、山へ行くと言う市野沢の嶋貫セツ子さん（昭和16年生まれ）。採ってきた蔓は観光協会が引き取り、



▲アケビ蔓製のハケゴ（ビク）
（白い森くらしの資料館所蔵）



▲木々に絡みつくアケビ蔓

その一部は、例年1月に国民宿舎飯豊梅花皮荘でおこなわれる「つる細工講習会」で教材として使われているそうです。今回は、そのような嶋貫さんのアケビ蔓採りについてお話をうかがいました。

周りの田んぼで稲刈りが進む9月末、嶋貫さんのアケビ蔓採りが始まります。

「採るのは9月の彼岸過ぎからだ。木が水吸わなくなるこの時期が良いみたいだな。そうして葉っぱ落ちると今度、（地面を）這ってるの分からなくなるからダメなもの。」

陽当たりの良いとこだば、どんどんと蔓が地面を這っていくんだ。そういうのが真っ直ぐで長くて良いんだな。木に登ってるものはぐるぐる回るものだもの、使えねえ。

採るときは地面に出るところから10センチぐらい残すんだな、節のところ。来年の種についていうか。そうすると、今年採らねかったところが来年伸びて、長くなっていくんだ。良いあんばいのとこだと1年でずうっとつなぎ（節）ねく伸びていくけど、悪いとこだとちよつと伸びては、また次の年ちよつと伸び



採ってきたアケビの蔓（左）は、ハサミで節の出っ張りを切り除き（上）、きれいにした後、太さに応じて三段階に分ける。そして約3週間干した後、1mずつに切って出荷する。

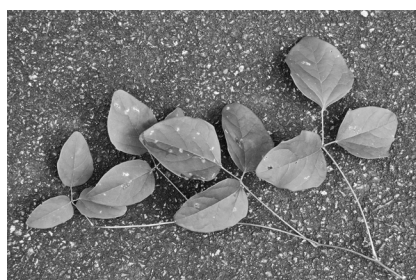
てって、つなぎだらけになるまで。やっぱり陽当たり一番だ。それに、その年の天気にもよるみたいだな。」と嶋貫さんは教えてくれます。

アケビの蔓を採ってくると、まず節の部分にある出っ張りをハサミで丁寧に切り除き、きれいに整えていきます。そのあと、小屋の軒下に吊るし、3週間ほ

どかけてゆつくりと乾燥させるのです。なるべく癖がなく、きれいで使いやすい良質の素材を提供したいという嶋貫さんのこだわりが窺えます。

ところが近年、良いアケビ蔓の生えているところが少なくなっているようです。森林に人の手が入らなくなり木々が育つてしまい、陽当たりが悪くなってきたからだと言います。と嶋貫さんは

「昔はほら薪伐って、春から木伐りして、皆伐ったもんだから。そうしたとこさ、アケビってどんどん増えていったもんだもの。それに、杉つけ（植林）も盛んだったか



▲アケビ（ミツバアケビ）の葉

ら。伐採して、きれいに刈り払って。そういうとこさ（アケビ蔓が）這ってたもんだってオレの兄言っもんであった。そう

いうとこがいっぱいあったんだ。」と嶋貫さん。また、道端など集落近くの、少しでも開けたところでは最近、生長の速いクルミの木が繁茂してしまい、他の植物が育ちにくくなっているとも言います。

そのため今は近場で良い蔓を採ることが難しく、バイクの入るところまで、以前に比べて、より遠くから背負って歩いてこなければならなくなってきたそうです。

それでも嶋貫さんは今年もまた何十本というアケビの蔓を山から採ってきました。

「野菜みたいに手かけねえでもとれるって言えば、やっぱり山のもんだごで。難儀してもな。昔からこの人は山から採ってきて、売ってきて、それで生き



▲軒下に吊るし干しているアケビ蔓

てきたんだ。年いってもそうした愉しみがあるってのは、よそにないこの魅力だな。それに運動の一つだと思えば、そんなに（大変）でもねえぜ。」嶋貫さんは笑いながら話します。

アケビやマタタビ、ヤマブドウ、あるいはクルミなど野生植物の蔓や樹皮で編まれた工芸品は、この「白い森の国おぐに」が誇る特産物の一つです。それら製品の高い品質を生み出しているのは、町内に広がる「豊かな」森で育まれた良質の素材であり、かつそれらを活かす採取・加工・制作の巧みな技であるに違いありません。そうした豊かさや知識・技術を、自然を愉しむ暮らしのなかで次代へと大切に伝えていきたいものです。

秋の火災予防運動の実施について

令和元年度全国統一防火標語

「ひとつずつ いいね！で確認 火の用心」

秋季火災予防運動を11月9日(土)～15日(金)まで実施します。運動期間中は、午前7時と午後7時に防災ラジオから注意喚起が放送されます。また、11月10日(日)午前9時から12時まで町消防団の消防自動車が出発パレードで町内を巡回します。

暖房などの火気の使用が増える季節です。火の取り扱いには十分注意しましょう。

■問合せ 町民税務課 (☎62-2260) または
消防署小国分署 (☎62-2154) へ

介護講座のご案内

いま自宅で介護しているかた、介護に関心のあるかた、どなたでも参加できます。お気軽においでください。

■日 時 11月8日(金)10:00～11:45

■場 所 健康管理センター

■内 容

◇介護保険ミニ講座

介護保険制度のことやサービスを利用するには？
介護保険の疑問をわかりやすく解説します。

◇低栄養予防講話 健康食レシピ試食

健康づくりは食事から！栄養をバランスよく摂れるレシピを紹介、試食します。

■問合せ 地域包括支援センター (☎61-1001) へ

置賜地域議員協議会を開催します

地域の課題や施策等について、地元議員が審議を行います。県議会の活動を身近で傍聴できる機会ですので、お気軽にご参加ください。

■日 時 11月15日(金)15:00～(受付14:30～)

■場 所 置賜総合支庁西置賜地域振興局講堂
(長井市高野町2-3-1)

■問合せ 山形県議会事務局議事調査課
(☎023-630-2841) へ

除雪機械を貸し出します

大型機械での除雪が困難な歩道や生活道路等を対象に、ハンドガイド式小型除雪機械(35馬力)を貸し出します。

■対象者

- ①町に居住する2世帯以上で構成する任意団体
- ②町長が特に認める個人または法人

■貸出台数 5台

■募集期間 11月1日(金)～15日(金)

■貸出期間 11月下旬～令和2年3月31日(火)

■申込・問合せ 地域整備課建設管理担当
(☎62-2431) へ

排水設備工事責任技術者登録更新のお知らせ

山形県下水道協会に登録している責任技術者で、登録の有効期限が令和2年3月31日までのかたは、更新手続きが必要です。

■該当者

登録有効期限が令和2年3月31日までのかた

■必要手続

- ①登録更新の申請
- ②更新講習会の受講

■更新申請期間 11月1日(金)～29日(金)

■申請受付・問合せ 地域整備課水道業務担当
(☎62-2431) へ

やまがたの森づくり発表会の開催について ～「やまがた木育」と活動報告会～

■日 時 11月23日(土)11:30～16:00
(開会 13:00)

■場 所 山形国際交流プラザ 山形ビッグウイング2階交流サロン

■内 容 講演、やまがた緑環境税を活用した森づくり活動発表、「やまがた木育」体験等

■対 象 森づくり活動に興味のあるかた、補助事業による活動を検討しているかた

■問合せ 置賜総合支庁森林整備課森づくり推進室 (☎0238-35-9053) へ

入札結果情報 (令和元年9月21日～令和元年10月20日実施)

単位(円)

入札日	工 事 名	施行場所	工期(完了)	予定価格	落札業者	落札価格
R1.10.16	令和元年度飯豊温泉引湯管法面崩落防止工事	小玉川	R1.11.29	5,064,000	安部工業(株)	5,000,000

※入札結果情報の金額は消費税及び地方消費税を含みません。

令和元年度置賜地域道路整備 促進大会が開催されました

令和元年度置賜地域道路整備促進大会が、10月8日、米沢市で開催され、置賜3市5町から約450人が参加しました。大会では、国土交通省東北地方整備局の田中誠柳道路調査官が「道路を取りまく最近の話題」と題して講演を行ったほか、高畠町と川西町の代表と、小国町から今玲子さん（クアーズテック(株)小国事業所総務担当シニアHRビジネスパートナー）の3人が、道路整備の必要性について意見発表をしました。



奨学金の貸与を受けている 若者の本町回帰を支援します

町では、若者の本町回帰・定住を促進するため、山形県と連携して、奨学金の貸与を受けている大学生等に対し、奨学金の返還支援事業を実施しています。

■対象者 次の項目を全て満たすかた

- ①県内の高等学校等を卒業したかた
- ②国内の大学等に令和元年度に在学中のかた
- ③日本学生支援機構の第一種または第二種奨学金の貸与を受けているかた

■助成内容 大学等を卒業後、6カ月以内に町内に居住して県内企業に就業し、かつ3年以上居住、就業を続けた場合に、最大で124万8千円の助成が受けられます。

※なお、その他にも諸条件がありますので、応募の際にご確認ください。

■応募期間 令和元年12月20日(金)まで

■応募・問合せ先 総合政策課政策企画担当
(☎62-2264) へ

日本郵便(株)と包括的連携協定 に関する協定を締結

日本郵便(株)と町は、安全安心な暮らしづくりや子どもの育成等に向けた包括連携協定を、10月17日に締結しました。

今回の協定は、災害時における相互の連携を図るほか、日常業務で町内各所を回る郵便局員による子どもや高齢者等の見守り活動、道路の損傷や不法投棄などの情報を提供していただくこととなっています。この協定の対象となる郵便局は、小国郵便局、舟渡郵便局、羽前津川郵便局、玉川郵便局の町内4郵便局のほか、長井郵便局の5局になります。



山形三菱自動車販売(株)と 災害時応援協定を締結

山形三菱自動車販売(株)（小野勉代表取締役）と町は、災害時等における電動車両及び給電装置に関する協力協定を、10月3日に締結しました。

今回の協定は、自然災害や大規模停電時等における電動車両や給電装置の提供に関する内容です。協定締結により、電力や燃料の供給が途絶えた際の、機動力のある非常用電源としての活用が期待されます。また、この協定には町内の山形三菱自動車登録販売店である(株)小国自動車整備工場（阿部秀勝代表取締役）と(有)三栄自動車工業（貝沼修代表取締役）も参画しています。



道の駅新直売所がグランドオープン



道の駅白い森おぐに新直売所が、9月27日にグランドオープンを迎え、関係者約50人が参加してセレモニーが行われました。

セレモニーでは、仁科洋一町長が、「これまでの道の駅の機能に磨きをかけ、関係団体と協力しながら、より機能が高く、より魅力的で、わくわくできる元気な道の駅を目指してまいります。」とあいさつしました。

直売所は、昨年度、山形県中山間地域所得向上支援事業費補助金を活用して直売所本体を整備し、今年度は、直売所周辺の駐車場等外構工事を実施しました。

白い森ダンスフェスタを開催

第2回白い森おぐに新潟・山形交流ダンスフェスタが、10月6日、町民総合体育館で開催され、新潟・山形両県から14チーム・約200人のダンサーが参加しました。

当日は、各チームのダンスパフォーマンスや参加者全員での総踊り、餅まきが行われダンスを通じた新潟・山形両県の交流を図りました。また、会場には地鶏やキノコなどの試食コーナーも設けられ、参加したダンサーは、ダンスだけでなく、小国のおいしい食材も楽しんでいました。



▲新商品「白い森の白いわらび餅」の試食・販売



▲ハロウィンディナーを楽しむかたがた

新たなお土産品をお披露目

「白い森まるごとフェスタ」

町の特産品等を町内外にPRする「白い森まるごとフェスタ」が、10月12・13日、道の駅白い森おぐにで開催されました。期間中は、新たなお土産品「白い森の白いわらび餅」の試食・販売やシイタケの菌床栽培セット「白い森のきのこハウス」の展示・販売を行ったほか、白い森ロゴバッグやカボチャのランタンづくり体験などが行われました。

また、13日の夜には、旬菜レストランあいあい「ハロウィンナイト」と題し、東京都新宿のBistro COLORISのオーナーシェフ川瀬彩さんによる小国の食材を使ったフランス料理が提供されました。

来場者は、体験イベントを楽しんだり、新たな特産品の味を堪能したり、小国の食材に舌鼓を打ちました。

白い森おぐにビジネス創出塾

町では、本町の優れた地域資源を活用したビジネスプランや、町の事業者と連携したビジネスプラン等、新たなビジネスプランを発掘し、町民が主体的にチャレンジする意欲を刺激するとともに起業創業のさらなる促進を図るため、白い森おぐにビジネス創出塾を開催します。

これは、昨年度実施したビジネスプランコンテストを発展させたもので、さまざまなプロのサポートを受けながら、ビジネスの種と一緒に育てていくという取り組みです。白い森まるごと塾でも講師をしていただいた石井和宏さんに全体のマネジメントをお願いし、コンテスト前後のフォローアップに力をいれていくつかのビジネスが動き出すことを目指しています。1月には仮想経営会議型のコンテストも実施し、優秀なプランには賞金も贈呈します。

新たなビジネスにチャレンジしたいかたや、アイデアはあるがどう形にしたらいいか悩んでいるかたは、是非お気軽にお問い合わせください。

ビジネスプラン募集中!!

活性化させる力と、地域の魅力を伝える、事業協創を

■対象事業

- ・小国町の地域資源（特産物、農林水産物、工業製品、生産技術、観光、文化、人的資源等）を活用した事業
- ・小国町の地域課題の解決、未来への投資だと判断できる事業

■募集内容

- ・起業・創業部門
- ・起業アイデア部門
(小中高生、大学生等の学生のみ)

■賞金等

- ・起業・創業部門 最優秀賞 30万円
優秀賞 10万円
- ・起業アイデア部門
アイデア賞 5万円
特別賞 賞品
- ・共通

■ビジネスプランコンテスト

- 日時 令和2年1月25日(土)13:30~
- 場所 アスモ 3階 会議室

■応募締切 令和元年11月30日(土)

■その他 応募方法など詳しくは、町のホームページまたは専用サイトをご覧ください。

■問合せ 総合政策課白い森ブランド戦略室
(☎87-0821) へ



ご案内

白い森杯柔道大会2019

■日時 11月23日(土)9時～

■場所 小国町民総合体育館

■内容 新潟山形両県から約90チームが参加予定。男子I部・II部、女子の部の団体戦を開催。また、大会の見どころとなる県選抜対抗戦は両県実力者によるドリームマッチです。

■問合先 小国町柔道会佐々木 (☎090・7279・0131)へ

紙巻アージュ®で作る！
素敵な手作りクリスマス
フォトフレーム

■日時 12月4日(水)

13時30分～16時

■場所 小国町商工会研修室

■内容 ペーパークイリングを簡単に楽しめるキット「紙巻アージュ®」の開発話などについて話を聞いたのち、クリスマスにぴったりのオリジナルフォトフレームを作ります。

■参加費 1000円

■対象 どなたでも(定員10人)

■申込締切 11月29日(金)

■申込・問合先

小国町商工会女性部 (☎62・4146)へ

地域との協働による高校
改革推進事業「研修会」

■日時 11月19日(火)

18時～19時30分

■場所 おぐに開発総合センター 集会室

■講師 大正大学地域構想研究所 教授 浦崎太郎 氏

■演題

「未来の高校を小国から」

■問合先 県立小国高等学校 (☎62・2054)へ

プログラミング発表会 &
ワークショップ

■日時 11月3日(日)①11時20分
②12時10分～12時50分

■場所 町民総合体育館

■内容 プログラミング講座
参加者の発表、球体ロボットの「スフィード」体験

■問合先 白い森学習支援センター (☎62・2141)へ

米沢養護学校
よねようまつり2019

■日時 11月16日(土)

9時15分～11時45分

■場所 県立米沢養護学校

■内容 作業製品の展示販売、小学部児童による発表PTAコーナー、近隣の福祉サービス事業所等の製品販売、写真展示など

■問合先 山形県立米沢養護学校 (☎0238・38・6101)へ

11月は「児童虐待防止推進
月間」です

虐待を受けていると思われる児童を発見したときや、ご自身が出産や子育てに悩んだときはご相談ください。

■相談窓口

「虐待が疑われる場合」

○児童相談所全国共通ダイヤル ☎189(いちばやく)

※24時間対応で、地域の児童相談所につながります。連絡は匿名でも可能です。連絡者の秘密は守られます。

【子育てに関すること】

○町健康福祉課福祉政策室
☎61・1000

※月～金(祝日、年末年始を除く) 8時30分～17時15分

募集

町営住宅入居者募集

①町営住宅小坂町団地

3DK 3戸(3・4階)

■家賃 所得と家族構成による

■その他 所得制限あり

②町営住宅あけぼの高齢者団地
1LDK 1戸(1階)

■家賃 所得と家族構成による

■対象

▽世帯所得が21万4千円以下
で住宅に困っているかた
▽60歳以上のかたで自立した
生活を送ることができ、同
居するかたが配偶者または
60歳以上の親族であること

①②共通

◎敷金 家賃の3カ月分

◎募集期限 11月11日(月)

◎入居時期 11月下旬以降

◎問合先 地域整備課建設管理室 (☎62・2431)へ

11月の 保健カレンダー

1. 各健診の日程等

■4カ月児健診

- ・期 日 11月29日(金)
- ・受付時間 13:10~13:20
- ・対 象 令和元年7月生まれ

■1歳児健診

- ・期 日 11月29日(金)
- ・受付時間 13:00~13:10
- ・対 象 平成30年11月生まれ

■2歳児歯科健診

- ・期 日 11月20日(木)
- ・受付時間 13:00~13:15
- ・対 象 平成29年3月、4月、5月生まれ

2. 場 所 健康管理センター

3. その他

母子健康手帳を持参ください。

4. 問合先 健康管理センター (☎61-1000) へ

子育て支援センターから

■11月の広場日程

広場名称	曜日	時間	申込
なかよし広場	月~金	9:30~11:30・13:00~15:30 (水・金は午後のみ)	不要
子育て講座「ヨガ」	11月7日(木)	10:20~11:20・健康管理センター	必要

■対象者 なかよし広場・子育て講座 就学前のお子さんとお家のかた
■その他 お気軽にご参加ください。平日はいつでも子育て相談に応じています。また、白百合保育園(水曜午前)、すみれ保育園(金曜午前)でも同様の場所を設けています。詳細は各保育園にお問い合わせください。

■問合先 子育て支援センター(おぐに保育園内 ☎62-2330)・
白百合保育園(☎62-2436)・すみれ保育園(☎62-5284)

休日当番担当歯科医のお知らせ

11月3日(日)	南陽 斎藤歯科医院(宮内)	0238-47-3309
11月4日(月)	米沢 くまの歯科	0238-40-8600
11月10日(日)	小国 加藤歯科医院	0238-62-2678
11月17日(日)	米沢 りんせんじ歯科	0238-21-6487
11月23日(土)	南陽 高橋歯科医院	0238-47-6222
11月24日(日)	米沢 林歯科医院	0238-22-8148

求 人 情 報

右の表は10月18日現在でハローワークへ登録された求人のうち、小国町をおもな就業先としている求人情報です。既に雇用が確定している場合もありますので、ご了承ください。
求人情報の詳細については、ハローワーク長井(☎84-8609)へ。

今月の納税 2019.11

11月の税金等の口座振替は、次のとおりです。振替日の前日まで、指定の口座に入金してください。

●11月26日(火) 水道料

●12月2日(月) 国民健康保険税・後期高齢者保険料、介護保険料、下水道料、簡易水道料、住宅使用料、保育料、児童福祉使用料

■問合先

町民税務課税政管理室
(☎62-2403) へ

事業所名	職 種	求人数	勤 務 時 間
アクサ生命保険(株) 長井オフィス	商工会議所・商工会共済・福祉制度推進スタッフ	2人	9:15~16:15他
合資会社 山佐	整備士・店頭販売・セレクトホールスタッフ	各1人	8:30~17:30
山和建設(株)	一級土木施工管理技士・一級建築施工管理技士【本社】、二級土木施工管理技士・二級建築施工管理技士【本社】	各3人	8:00~17:00
(有)三栄自動車工業	自動車整備士	2人	8:30~17:30
荒川興業(株)	製造加工	3人	8:20~17:10
(株)旭林業	林業技術士・大型運転手	3人	7:30~17:15他
小国町森林組合	伐採・集材・造林・保育作業員	2人	7:30~17:00
長谷川工業(株)	マシニングオペレーター	2人	8:30~17:00
おぐに白い森(株)	応接員	2人	7:00~16:30他
遠藤建設(株)	重機オペレーター、土木施工管理技士、一般作業員	計4人	8:00~17:00
(株)山芳工務店	電気設備工	1人	9:00~18:00
(株)高橋工務店	土木技術者(見習い可)、建築技術者(見習い可)、現場作業員	各2人	8:00~17:00
(有)小国技研	ボーリング洗浄工及び作業管理補助	2人	8:00~17:00
安部工業(株)	一般作業員	1人	8:00~17:00
斉藤建設(株)	一般作業員	2人	8:00~17:00
大河内産業(有)	ダンプ・重機運転士、砂利プラント運転士	各1人	8:00~17:00
長井郵便局	郵便物・小包、配達・集荷	2人	8:00~16:45他
美森ファーム(株)	販売員	1人	8:00~17:00の間の5時間程度
(有)白い森よこね物産品特売所(小国道の駅)	清掃員、販売及び調理スタッフ	計3人	9:00~18:00の間の5時間程度他

※先月号掲載分以降に新規で登録された求人掲載しています。
※町ホームページに求人情報を掲載しています。

11月の あいベイベント MixCUPフットサル大会



- 日 時 11月17日(日) 8:30～
- 対象者 中学生以上（6人制・うち女性3人以上）
- 参加費 500円/人（保険料込）
- 申込締切 11月10日(日)

第2回Yui小国町民 3×3バスケットボール大会

- 期 日 11月17日(日) 9:00～
- 場 所 小国町民総合体育館 2階大体育室
- 対象者 中学生以上男女（男子・女子・男女混合チーム）
- 参加費 1,000円、高校生500円、中学生無料
- 申込締切 11月10日(日)

■申込・問合せ先
(☎62-5808)

おぐにYui
スポーツクラブ

公式ワナゲ大会のご案内

公式ワナゲの個人戦です。日頃鍛えた腕を試してみませんか。初心者、老人クラブ未加入者、大歓迎！

- 日 時 11月14日(木) 9:30～11:45
受付 9:00～
- 場 所 小国町民総合体育館 高齢者体育室
- 対 象 おおむね60歳以上のかた
- 内 容 3ゲームの合計点で競います
- 参加料 100円（保険料等）
- その他 内履きが必要です。飛び賞などの賞品の用意をしています。
- 申込期限 11月7日(木)
- 申込・問合せ先
小国町老人クラブ連合会（小国町社会福祉協議会）
(☎62-2825) へ

総 合 セ ン タ ー 図 書 室 か ら

～新着図書～

- ◇希望の糸
- ◇渦 妹背山婦女庭訓魂結び
- ◇てんげんつう
- ◇百の夜は跳ねて
- ◇トリニティ

休館日 毎週月曜日・祝日

東 野 圭 吾
大 島 真 寿 美
畠 中 恵
古 市 憲 寿
窪 美 澄

相 談

▽年金相談

- 日 時 11月20日(水)
10:30～14:00
- 場 所 役場
- 対応者 米沢年金事務所職員
- 申込み 事前に申込みが必要です。
- 申込・問合せ先 町民税務課住民窓口担当へ

▽弁護士無料法律相談

- 日 時 12月6日(金)
10:00～15:00
- 場 所 総合センター
- 対応者 町顧問弁護士
- 申込み 事前に申込みが必要です。
- 申込・問合せ先 町民税務課町民生活担当へ

▽人権相談

- 日 時 12月6日(金)
10:00～14:00
- 場 所 総合センター
- 対応者 町人権擁護委員
- 申込・問合せ先 町民税務課住民窓口担当へ

▽行政相談

- 日 時 12月7日(土)
10:00～12:00
- 場 所 役場
- 対応者 行政相談委員 齋藤恒助氏
- 申込・問合せ先 町民税務課町民生活担当へ

PPバンドのかご作り教室

山菜採りや畑仕事に便利な「はけご（腰かご）」や小物入れを編んでみませんか？

- 日 時 11月30日(土)～12月1日(日)
両日とも 9:00～16:30 受付 8:30～
- 場 所 おぐに開発総合センター 1階
- 定 員 20人
- 参加費 4,000円（材料費、指導料、保険料等）
- 申込締切 11月22日(金)
- 問合せ先 NPO法人ここ掘れ和ん話ん探検隊（☎62-5955）へ



●小国町役場 ☎62-2111(代)fax62-5464
●総務課(行政管理担当/管財・危機管理担当/財政担当) ☎62-2112 ●総合政策課 ☎62-2264
●会計室 ☎62-2406 ●観光経済室 ☎62-2416 ●農林振興室 ☎62-2408
●住民窓口担当・町民生活担当 ☎62-2260 ●国保医療担当 ☎62-2261 ●税政管理室 ☎62-2403
●建設管理室 ☎62-2431 ●建設技術室 ☎62-2432 ●議会事務局 ☎62-2448



戸籍のまど

(9 月 届 出 分)

誕生おめでとうございます。

叶 水中村 吹^ふ落^き (由 梨)

結婚おめでとうございます。

(岩 井 沢 木 村 健 太
松 岡 伊 藤 友 美)

(若 山 田 島 潤
伊 佐 領 宮 野 友 里 恵)

(東 原 渡 部 怜
上 山 市 川 合 千 穂)

おくやみ申し上げます。

沼 沢 齋 藤 マサエ	(94)
今 市 伊 藤 ふ く	(94)
岩 井 沢 木 村 ウメ子	(90)
小国小坂町 加 藤 キ ク	(99)
太 鼓 沢 鈴 木 政 子	(88)
小 玉 川 舟 山 ふさ子	(93)
荒 沢 伊 藤 輝 雄	(91)
小国小坂町 本 間 國 雄	(85)
小 股 安 部 要	(61)

※この欄に掲載を希望しないかたは、届出の際にお申し出ください。

人口のうごき (令和元年9月30日現在)

人口	男・・・3,693人(－8)
	女・・・3,741人(－9)
	計・・・7,434人(－17)
世帯数	3,040世帯(－5)

編集後記

山々が鮮やかに彩りはじめ、そろそろ飯豊連峰や朝日連峰には冬の便りが届く季節となりました。町内各所で、雪囲いの作業をするかたがたの姿を見ると、すぐそこまで冬が来ているのだと実感します。ただその前に、雪降る直前11月は秋のおぐくのイベントも目白押しです。白い森芸術祭の各種イベント、鍋まつりや自然の恵み大感謝祭など、芸術・食欲・スポーツで秋を彩りたいものです。(斎藤)

仕事 vol.18 図鑑

安部工業株式会社

代 表 者 代表取締役
従 業 員 数 42人
所 在 地 小国町大字町原63-2
事 業 概 要 総合建設業

「お客様に、満足して頂ける製品を提供する。」を社内の品質方針に掲げている安部工業(株)。同社は、昭和62年3月に本町で創業して以来、町内公共工事や土木・建築工事など多くの工事を行っています。

同社の工務部課長を務め、道の駅新直売所整備や小国小学校エアコン設置工事などに携わった須貝朝子さん(あけぼの)は、「以前別な会社の現場事務で、たまたま測量の手元を手伝ったときに、測量したものを図面に落としとしていたり、それを基に書類を作成したりする経験を通して、建設業の現場も面白いなと思ったことがきっかけで、建設業に入っています。何もないまっさらなところに道路ができたり、橋ができたりして、そうした『ものづくり』に楽しさを感じています。現在は建築工事を主に携わっていますが、新築住宅工事は、お客様と一緒にひとつのものを作り上げていきますし、徐々に仕上がりが見えてくるととても楽しいし、うれしいですよ。現場に飛び込んですぐに建設業にかかわる資格試験を受験したのですが、全くわからないことばかりで駄目でした。しかしその後、先輩の現場について回り、ものの名称や工事の進め方などを徐々に覚え、3年かけて1級土木施工管理技士を取得しました。建設業というと3K(きつい・汚い・危険)というイメージを持たれがちですが、特に住宅工事では女性が関わることで仕上がりも他とは変わることもありますので、ぜひ女性のかたに建設業をお勧めしたいですね。」と話してくださいました。

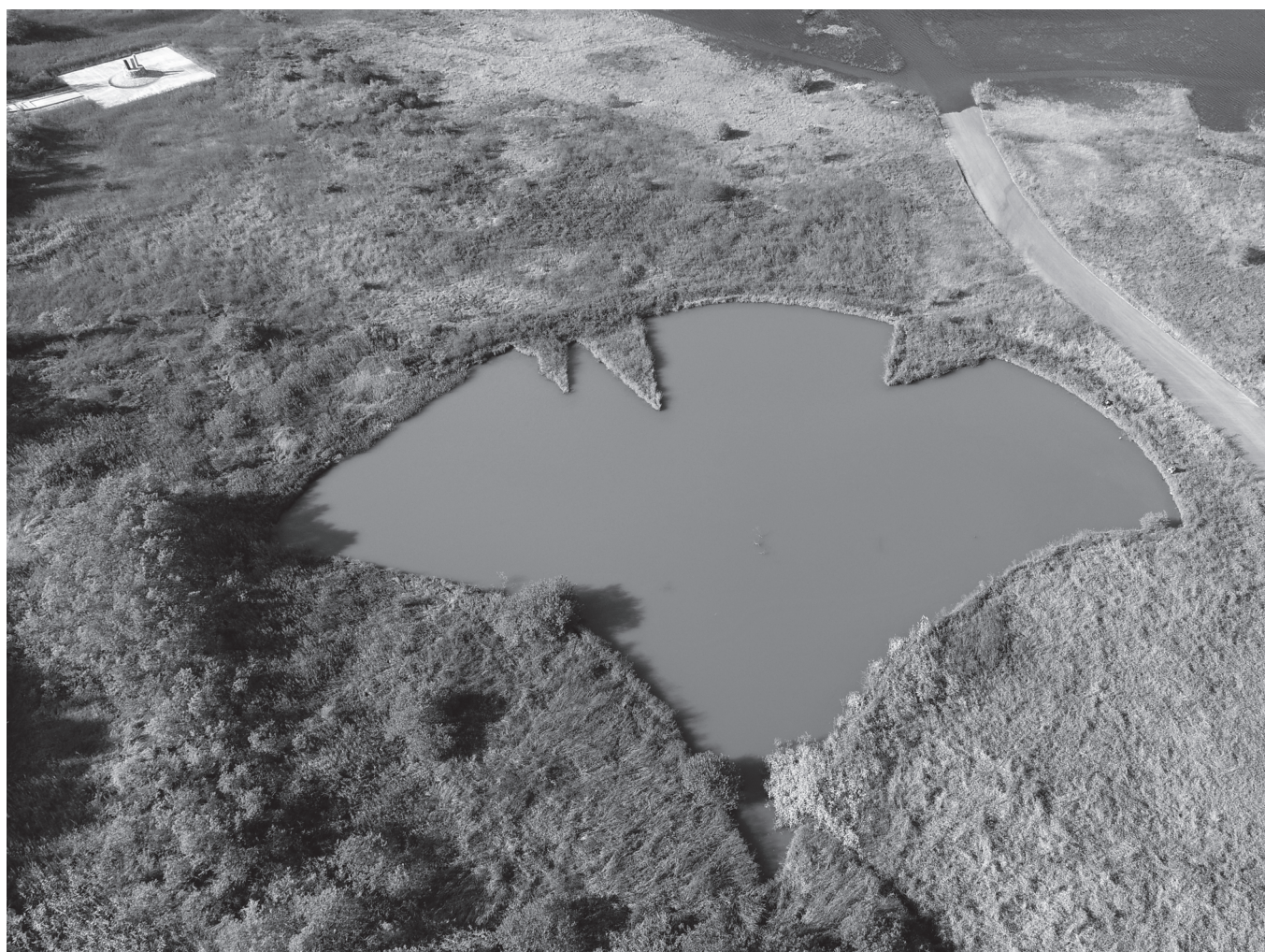
安部工業(株)では、高品質の製品を提供するとともに常に改善を重ね、よりよい品質づくりのため、社員が一人となって今日も現場で汗を流しています。



▲コンクリート打設工事の現場で測量をする須貝朝子さん

ドローンがみた、 おぐにの風景

No.7



⑦「横川ダム-イチョウ池」

横川ダムのイチョウ広場を上空から見下ろすと、そこにはイチョウの葉の形をした池があります。飛泉寺の大イチョウが移植されてきたイチョウ広場。この大イチョウは、ダム建設時浸水域に生育していたため、伐採の対象となりましたが、地域住民の強い要望などから、非浸水域への移植が行われたのです。この移植工事は、水平距離約100m、高さ約9mを移動させるとても大きな工事でした。大イチョウと移植前の位置にあるモニュメント、そしてこのイチョウの葉の形をした池。イチョウにかかわる3つのものが横川ダムには存在しており、横川ダムと飛泉寺の大イチョウは切っても切れない縁があることを物語っています。